

令和4年度 事業報告書



社会福祉法人 南小国町社会福祉協議会

阿蘇やまびこネットワーク



きよらの郷 もやいで つなぐ 福祉の輪

— 目 次 —

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
法人運営事業	
1. 法人運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	5－10
2. 公共施設の管理運営事業・・・・・・・・	11
3. 地域支え合い活動の推進・・・・・・・・	12－15
4. 人材・福祉文化の醸成・・・・・・・・	16－20
5. 役場・社協・関係機関の一層の連携・・	21－25
6. 在宅福祉サービス事業・・・・・・・・	26－28
7. 各種団体等の事務受託と活動への協力・支援・・	28－30
8. 居宅サービス事業（介護保険・介護予防日常生活支援総合事業・障がい者総合支援法） 地域包括支援センターへの出向	31－34
9. 資料集	
南小国町の福祉概況、福祉環境・・・・・・・・	35

報告書の構成について

■ はじめに

—報告書の見方—

大枠の事業名 （担当部門名）

事業名	事業目的	事業概要
小枠の事業名 【担当部署】	事業実施の目的です。	事業の詳細等を記載しております。

地域支え合い活動の推進



ふれあいサロン活動の推進



高齢者の生きがいと健康維持増進
高齢者ミニデイサービス事業

人材育成と福祉文化の醸成



福祉ボランティア教育の推進
障がいに対する正しい理解の啓発



ボランティア活動の推進
中高生等のボランティア活動の実践

行政・社協・関係機関の一層の連携



南小国町民生委員児童委員活動の推進



子育て支援 福祉共育
地域・多機関協働での事業推進

《はじめに》

令和４年度において、本会は南小国町と本会が協同して策定した、『第２期 南小国町地域福祉総合実践計画』に基づき、地域福祉活動の推進や居宅介護支援・訪問介護・通所介護等の介護サービス事業の提供など、本会の公共性・中立性を活かし「地域福祉推進の中核的な役割を担う団体」として「町民の方々がともに支えあい、互いに助け合いながら安心して安全に暮らせる町づくり」の実現に向け、各種の事業に取り組んでまいりました。

近年、住民の抱える問題は生活困窮や介護・障がいにとどまらず、ひきこもりなどの社会的孤立、虐待、DV、児童虐待、多重債務など、様々な分野の課題が絡み合い複雑化している傾向にあり、そのような複合的な支援を必要とする困難ケースに対応するためには、社協職員にはますます高い専門性が求められるようになっていきます。

本会は住民の様々な困りごとやニーズに対応するために、職員のスキルアップを図り、各種研修会への参加や、福祉・介護サービスの情報公開、情報発信等を行うとともに、南小国町や地域包括支援センター、小国郷医療福祉あんしんネットワーク、阿蘇やまびこネットワーク等との連携を推進しています。

また、令和元年度に突如発症した新型コロナウイルス感染症の猛威はなかなか収まらず、時には地域活動に大きな影響を及ぼし、現在５類へ移行したものの、依然として私たちは新しい生活様式に心がけ、まん延防止と終息に向けて取り組まなければならない状況が続いています。

熊本地震から７年が経過し、災害への備えの意識がやや薄らいでいますが、その後も日本各地では多くの自然災害が発生しており、いつ本町が大規模災害に見舞われるともしれません。災害発生時や感染症の発生時などの緊急時のために策定したＢＣＰ（事業継続計画）を基に、損害を最小限に抑え、事業の継続・早期復旧に向けての体制整備、平常時の訓練など、今後ますます重要になってくると思われますので、関係者相互の情報共有と連携協力をもって、町民全体が互いに支えあって対応していく、災害に強いまちづくりを目指していくことが必要であると考えます。

●＜法人運営事業＞

1. 法人運営事業 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要
1 役員会・評議員会の開催 【総務】	本会の運営と事業経営を適正に進めていくために法令に基づき必要な予算・決算、事業計画・事業報告等を審議・決定する会議等を開催します。	定款に基づき次の会議等を開催 1 理事会 第1回 令和4年6月3日（金）13：30～14：47 第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度法人会計決算報告及び監査報告について 第3号議案 辞任に伴う評議員候補者の推薦について 第4号議案 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について 第5号議案 令和4年度第1回評議員会の開催について 第6号議案 令和3年度利益相反取引及び会長先決事項の報告について 第2回 令和5年3月3日（金）13：30～15：48 第1号議案 令和4年度法人会計第1次補正予算について 第2号議案 会員規程の改廃について 第3号議案 就業規則の一部改定について 第4号議案 給与等支給規程の一部改定について 第5号議案 準職員就業規則の一部改定について 第6号議案 再雇用職員就業規則の一部改訂について 第7号議案 登録職員就業規則の給料表（別表2）の改定について 第8号議案 令和5年度事業計画について 第9号議案 令和5年度法人会計予算について 第10号議案 令和4年度第2回評議員会の開催について 第11号議案 令和5年度利益相反取引（双方代理含む）について

事業名	事業目的	事業概要
		2 評議員会 第1回 令和4年6月23日（木）13：27～15：02 第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度法人会計決算報告及び監査報告について 第3号議案 辞任に伴う後任理事の選任について 第2回 令和5年3月17日（金）13：25～15：06 第1号議案 令和4年度法人会計第1次補正予算（案）について 第2号議案 令和5年度事業計画について 第3号議案 令和5年度法人会計予算について 3 監事による監査の実施 第1回 監事会（監査）令和4年5月17日（火）9：00～12：00 内容：令和3年度社協事業執行状況及び社協会計の執行状況に関する 会計帳簿、預貯金通帳等財務諸表についての監査を実施 第2回 監事会（令和4年度 中間監査）令和4年11月14日（月）13：25～15：40 4 その他監査、調査、研修会等の開催 ■令和4年度 南小国町監査 日時：令和4年7月5日（火）13：25～14：45 内容：令和3年度の補助金にかかる監査を実施 ■熊本県社会福祉協議会 権利擁護事業訪問調査 日時：令和5年2月17日（金）13：00～16：00 内容：権利擁護事業利用者ごとの契約関係書類、保管物件、管理台帳、ケース記録等の調査 ■熊本県社会福祉協議会 市町村社協個別訪問（於：小国町社会福祉協議会 悠々館） 日時：令和5年3月9日（木）10：30～12：00 内容：小国町社会福祉協議会との広域事業（フリースペース事業、eスポーツ活用事業等）

事業名	事業目的	事業概要
		5 評議員選任・解任委員会の開催 第1回 令和4年6月8日（水）9：00～9：08 6 その他 理事・評議員・監事の選任にかかる事務
2 福祉サービス苦情解決体制の整備 【総務】	本会が提供する福祉サービスに関する苦情への適切な対応により、福祉サービスに対する利用者の満足感を高め、適切な利用又は提供を支援し、利用者個人の権利を擁護するとともに、実施する福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を高めるために設置します。	本会の福祉サービス苦情解決規程に沿って以下の体制において対応した。 1 苦情解決責任者の設置 責任者 事務局長 2 苦情受付担当者の設置 担当者 各部門 管理者5名 3 第三者委員の設置及び委員研修 委員：藤堂秀美氏、杉安つばみ氏、杉正市氏（任期 令和5年2月1日～令和8年1月31日） 第三者委員研修：オンライン研修（令和5年3月6日） 4 第三者委員への報告会（苦情・事故・ヒヤリハット等の事例報告会） 令和4年度の各事業所の事故・ヒヤリハット・苦情等の現況報告について報告を行った。 第1回 令和4年12月8日 第2回 令和5年3月6日
3 南小国町地域福祉総合実践計画の推進 【総務】 【地域福祉推進】	平成29年度に住民・役場と協力し策定した第2期『南小国町地域福祉総合実践計画』に基づき、地域福祉の充実に図ります。（6年計画）	1 南小国町地域福祉推進委員会の設置 第2期計画の進捗状況の確認と中間評価及び今後の推進方法への助言、計画内容の見直しと課題の整理を行う機関として設置した。 第1回 令和4年6月21日（火曜日）10時～11時30分 第2回 令和5年3月14日（火曜日）13時30分～14時10分

事業名	事業目的	事業概要												
		2 南小国町との合同事務局の設置 計画推進のため、南小国町（福祉課）と協働して計画を推進し、中間評価について協議した。 ● 事務局会議 2回開催 ※福祉課・社協との会議 ● 担当者会議 8回開催 ● 役場各課ヒアリング（令和4年8月29日～31日） 3 推進協力機関 地域福祉総合実践計画推進へのアドバイザーとして、ひとちいき計画ネットワークより助言・提案等をいただき事業推進に努めました。 会議・事業等への出席・協力回数 5回												
4 組織・職員の資質向上及び職員育成体制の整備 【総務】	組織として多様化・高度化する現代社会・福祉課題に的確に対応できる体制を検討・模索・整理します。 また、社会人、組織人としての基本的な資質や、専門的な資質の向上をはかり、地域福祉推進を担える社協職員の育成を目指して計画的な職員育成を推進します。	1 職員検討チームの設置 施設内の利便性の向上ため、職員による検討チームを設置した。 2 管理者会議の実施 局長・次長・係長・各部門の管理者の会議を月1回開催し、行事・事業内容の確認、課題等の検討を行なった。 3 職員勉強会の実施 各研修会等で学んだことの共有化・グループワーク・事例検討など、それぞれの専門性を学ぶとともに組織間の共通意識を高めることを目的に開催 5回開催 【内容】事業計画・会計予算について BCP研修（講師：にいがた災害ボランティアネットワーク） ハラスメント研修（講師：社会保険労務士上田事務所） 睡眠セミナー（講師：東洋羽毛） 4 職務を離れて行う育成(Off-J T:Off-the Job Training)の推進 (1) 県社協福祉人材・研修センター主催の研修受講<table><tr><td>1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）</td><td>2名受講</td></tr><tr><td>2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース</td><td>0名受講</td></tr><tr><td>3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース</td><td>2名受講</td></tr><tr><td>4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース</td><td>2名受講</td></tr><tr><td>5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース</td><td>0名受講</td></tr><tr><td>6. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会</td><td>0名受講</td></tr></table>	1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）	2名受講	2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	0名受講	3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	2名受講	4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	2名受講	5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	0名受講	6. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会	0名受講
1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）	2名受講													
2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	0名受講													
3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	2名受講													
4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	2名受講													
5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	0名受講													
6. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会	0名受講													

事業名	事業目的	事業概要
		(2) その他の職員研修等への参加推進 生活困窮者自立相談支援事業相談支援員研修会、ひきこもり支援者研修、全国福祉教育推進員研修、認知症キャラバンメイト養成講座、福祉有償運送講習、法令研修他 (3) 阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会主催の研修会等への参加 職員レクリエーション研修会、ホームページ操作説明会、災害ボランティアセンター運営研修 (4) 研修等の受講歴の管理 (5) 視察研修の受入・職員の派遣等 ①令和4年10月19日 天草市河浦町民生委員児童委員協議会の視察研修受入れ ②令和4年10月25日 氷川町民生委員児童委員協議会の視察研修受入れ 5 自己啓発の推進 (1) 職員自身による自主学習会・研修会等への自主参加等の推進を図った。 コロナ禍の為、各職員個人での自己研鑽を推奨 (2) 資格取得支援 業務遂行に必要な知識や専門性の高い資格取得を支援し、資格取得による質の高い福祉サービスを提供できる職員の育成とモチベーション向上、本会や職員に対する町民からの高い信頼の獲得（イメージ向上）を目指しました。 (ア) 資格取得への支援として、必要な学費・受講料等を貸付する資格取得資金等貸付規程に基づく貸し付けの実績はありませんでした。 貸付実績 0件 (イ) 資格手当の支給 各職員の資格等に応じて資格手当を支給 (ウ) 介護福祉士の試験を1名受験（登録職員）し、1名合格した。 (エ) 社会福祉士の試験を2名受験し、2名合格した。 6 BCP（業務継続計画）の策定 大規模災害や感染症等が事業所内外で発生した場合においても、重要な事業を中断させない、または中断したとしても可能な限り短い時間で復旧していくための方針や体制を示した計画を策定しました。 ● 策定会議の開催 8回 ● BCP 訓練 2回

事業名	事業目的	事業概要																		
5 社協組織強化・ 財政基盤の強化	法人組織として計画的な強化・経営基盤を固めるために職員一丸となって安定した自主財源の確保、公費助成の活用などの確実な増強に努めます。	1 組織・財政基盤の強化 コロナ禍で地域経済が低迷するなかで、地域福祉の充実を図るために社協会費等の募集方法の工夫、各種補助事業の有効活用、収益事業の検討など主体的な財源確保のための努力と介護保険事業の適切な経営管理と財政使途の見直しをはじめ、経費の有効的な活用によって、財政基盤の確立と整備に努めてきた。 (1) 社協会費 町民の皆様が福祉に参加する制度として社会福祉協議会会費の拠出協力をお願いして、以下のような実績を得る事が出来た。 <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>会費実績</td><td>506,000</td><td>528,000</td><td>480,000</td><td>479,000</td><td>466,800</td></tr><tr><td>前年度比</td><td>△52,000</td><td>22,000</td><td>△48,000</td><td>△1,000</td><td>△12,200</td></tr></table> ※ 会費の実績・使途は社協だより等にて町民の皆様にご公開しています。 (2) 寄付・香典返しの受付 寄付：750,938円（28件） 香典返し：970,000円（44件） (3) 公費助成などの確保及び増強、経費の有効的な活用・削減の推進 1. 介護職員処遇改善加算 2. 熊本県社会福祉振興基金助成金事業（熊本県社協 熊本県ボランティア活動推進事業）191千円 3. 熊本県社会福祉振興基金助成金事業（熊本県社協 安心生活支援活動推進事業）150千円 4. 熊本県アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業 3,120千円 5. 熊本県保護施設等に対する新型コロナ対策補助金 176,752円 6. 熊本県 生活困窮者緊急・一時支援事業補助金 70,000円 7. 南小国町補助金 南小国町社会福祉協議会事業補助金 22,000千円 8. 南小国町補助金 南小国町地域福祉整備事業補助金 1,133,581円 9. 日本財団・24時間TV福祉車両整備にかかる助成事業等へ申請（落選） 2 法人運営部会の設置（委員5名）【任期 令和3年9月15日～令和5年9月14日】 諸規程の事前審議及び職員育成や福祉サービス向上などに関して協議検討することを目的に設置 委員：平野康則氏、朝日康博氏、宅野晴美氏、職員代表：穴井由佳氏、事務局長：坂本泰子氏 運営部会の開催 第1回 令和4年11月15日（火）13：30～15：30 第2回 令和5年 2月10日（金）10：00～11：40 * 就業規則、準職員就業規則、再雇用職員就業規則、登録職員就業規則、給与等支給規程等を理事会に議案として上程する前に事前にご意見をいただく場として審議していただきました。		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	会費実績	506,000	528,000	480,000	479,000	466,800	前年度比	△52,000	22,000	△48,000	△1,000	△12,200
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
会費実績	506,000	528,000	480,000	479,000	466,800															
前年度比	△52,000	22,000	△48,000	△1,000	△12,200															
	 社協会費事業 地域福祉活動支援（ふれあいサロン活動）																			
	 各地域のネットワーク活動の推進 （ふれあいサロン活動の支援）																			

2. 公共施設の管理運営事業 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要																
1 町有施設の指定 管理者受託による管理・運営 【総務】	福祉を推進する事業を積極的に展開するとともに、町内の福祉センター、介護予防施設の利用促進を図り、ボランティア・福祉団体などの町民活動をより活発にし、町の福祉向上及び適切な管理運営に努める。	1 地域福祉センターりんどう荘の管理・運営 (指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日) 地域福祉センターりんどう荘では、通所介護事業、学習支援、ふれあい福祉相談、各福祉団体等の会議、子育て支援等に利用していただき、以下の実績となった。 <table><tr><th colspan="2">令和元年度 利用件数・利用者数</th><th colspan="2">令和2年度 利用件数・利用者数</th><th colspan="2">令和3年度 利用件数・利用者数</th><th colspan="2">令和4年度 利用件数・利用者数</th></tr><tr><td>247件</td><td>1959名</td><td>121件</td><td>505名</td><td>118件</td><td>707名</td><td>217件</td><td>1138名</td></tr></table> ※通所介護事業の利用実績は、含まない。	令和元年度 利用件数・利用者数		令和2年度 利用件数・利用者数		令和3年度 利用件数・利用者数		令和4年度 利用件数・利用者数		247件	1959名	121件	505名	118件	707名	217件	1138名
令和元年度 利用件数・利用者数		令和2年度 利用件数・利用者数		令和3年度 利用件数・利用者数		令和4年度 利用件数・利用者数												
247件	1959名	121件	505名	118件	707名	217件	1138名											
		2 地域福祉センター清掃管理等 コロナ感染拡大の予防と施設利用者が利用しやすく、安心して利用していただく為に、日常の清掃や施設内のアルコール消毒等による環境整備に努めた。 3 施設改修 施設利用者に利用しやすく、優しい施設にすべく改修工事をおこなった。 <table><tr><th>施工内容</th><td>消防設備修繕</td></tr><tr><td></td><td>コンセント増設工事</td></tr><tr><td></td><td>施設内劣化等の修理工事</td></tr></table>	施工内容	消防設備修繕		コンセント増設工事		施設内劣化等の修理工事										
施工内容	消防設備修繕																	
	コンセント増設工事																	
	施設内劣化等の修理工事																	
		4 福祉避難所の運営及び避難所の開設に向けた体制整備 災害が発生した際に、高齢者、障がい者、乳幼児その他特に配慮を要する者が安全に避難生活できるように福祉避難所の設置・運営について協定に則り南小国町と連携を図った。																
ぬくもり菜園を開始																		

3. 地域支え合い活動の推進 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要						
1 ふくし座談会等の開催 【地域福祉推進】	今後自分たちの地域を考え、支え合いを行っていくことの出発点として、住民自らの支え合い活動の必要性への気づきと活動の支援を行います。	1 ふくし座談会等の開催 実績 無 コロナ禍のため、計画通り実施できなかったが、今後のふくし座談会の推進方法等について検討をおこない、方向性を定めた。						
2 南小国町やまびこネットワーク活動 【地域福祉推進】  (やまびこ君) 	誰もが安心して、安全で快適に暮らせるよう、何らかの支援が必要な方々に近隣の住民が声かけや見守りなどの活動を展開する『南小国町やまびこネットワーク活動』を町民の方々の理解と協力を得て事業推進を図ります。	1 やまびこネットワーク ふれあい見守り訪問の実施 民生委員児童委員・南小国町（福祉課）・地域包括支援センターと協同で、町内の要配慮世帯等への見守り訪問を実施 実績 3 回開催（226世帯 延べ訪問数 675回） 2 各地区の小地域ネットワーク活動の推進 □ コスモス会（シルバーヘルパー）による見守り活動は、コロナ禍の為活動を自粛。 □ 民生委員と連携しての要配慮者等の実態把握及び見守り支援・連絡調整 □ 連絡会議・ふれあいサロン（当事者活動）等の地域福祉活動の支援 [地域福祉活動地区] ※本会調べ <table><tr><td>赤馬場</td><td>竹の熊、新町ピンコロリ会、さくら荘カフェ、さくら荘（100歳体操） 本町さくら会、赤馬場すみれ会、脇戸あすなろ会 馬場自治会（いちようサロン、森園サロン）</td></tr><tr><td>満願寺</td><td>里すこやかクラブ、志津ふれあいサロン、志津なかよし会、扇長寿会 立岩自治会、吉原自治会、白川自治会、田の原パークゴルフクラブ、大谷山サロン</td></tr><tr><td>中原</td><td>元気プラザ（楽笑会）、瓜上上下、上中原老人クラブ、いきいきサロン下中原 湯田老人クラブ</td></tr></table> 3 やまびこ見守り応援隊（事業者等への協力依頼） 下記の事業者と必要に応じて、連携をとり見守り活動の推進を図った。 【協力事業者】 九州電力日田営業所、佐川急便阿蘇営業所、ヤマト運輸小国センター、南北プロパン組合、熊日新聞販売店、肥後銀行小国支店、肥後銀行南小国出張所、熊本銀行小国支店、JA 阿蘇小国郷中央支所、小国町社会福祉協議会（陽なたぼっこ） 郵便局（杖立、北里、小国、南小国、中原簡易、黒川簡易）、町水道検針者	赤馬場	竹の熊、新町ピンコロリ会、さくら荘カフェ、さくら荘（100歳体操） 本町さくら会、赤馬場すみれ会、脇戸あすなろ会 馬場自治会（いちようサロン、森園サロン）	満願寺	里すこやかクラブ、志津ふれあいサロン、志津なかよし会、扇長寿会 立岩自治会、吉原自治会、白川自治会、田の原パークゴルフクラブ、大谷山サロン	中原	元気プラザ（楽笑会）、瓜上上下、上中原老人クラブ、いきいきサロン下中原 湯田老人クラブ
赤馬場	竹の熊、新町ピンコロリ会、さくら荘カフェ、さくら荘（100歳体操） 本町さくら会、赤馬場すみれ会、脇戸あすなろ会 馬場自治会（いちようサロン、森園サロン）							
満願寺	里すこやかクラブ、志津ふれあいサロン、志津なかよし会、扇長寿会 立岩自治会、吉原自治会、白川自治会、田の原パークゴルフクラブ、大谷山サロン							
中原	元気プラザ（楽笑会）、瓜上上下、上中原老人クラブ、いきいきサロン下中原 湯田老人クラブ							

志津なかよし会

事業名	事業目的	事業概要
 阿蘇ブロック社協 ホームページ 		4 阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会活動 阿蘇管内 7 市町村社会福祉協議会と連携し、阿蘇やまびこネットワーク活動を積極的に取り組みました。 (1) 事務局運営への協力(総会(1回)、事務局長会議 5 回、企画会議 9 回) (2) 阿蘇ブロック事業の主な取り組み ① 事務局長・福祉活動専門員等研修会(令和 4 年 8 月 19 日、令和 4 年 10 月 28 日) 内容: 災害ボランティアセンターにおける ICT の活用、ホームページ機能強化 ② 阿蘇ブロック社協職員レクリエーション研修会(令和 4 年 11 月 6 日) ③ 災害ボランティアセンター 災害時相互応援協定連絡網、備品の在庫確認 ④ 阿蘇ブロック社協ホームページの運営管理 ⑤ 共同パンフレット制作 ⑥ 青年会議所との相互応援協定締結(調印式: 令和 4 年 9 月 17 日) ⑦ 阿蘇やまびこふれあいフェスタの開催(令和 4 年 10 月 15 日) 5 小国郷医療福祉あんしんネットワーク 小国郷において医療・介護が必要になっても、住み慣れた家や地域で生活できるための医療・介護・福祉の連携体制づくりを関係機関と協働で進めてきました。 (1) 世話人会への参加(8 回)、全体会への参加(3 回) (2) 小国郷医療福祉あんしんネットワーク オンラインフォーラムへの協力(コロナ禍のため未開催) (3) エンディングノートの普及推進活動への協力
3 高齢者の生きがいと健康の維持増進と介護予防の推進 【地域福祉推進】 ※ミニデイサービス事業は、町保健師と連携して実施。 	元気な高齢者から虚弱な高齢者や自宅に閉じこもりがちな高齢者を対象に、要介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れ、住み慣れた地域で地域住民同士で支えあい、元気に暮らせるよう支援していくことを目的として実施します。	1 高齢者ミニデイサービス事業(単位老人クラブ及びふれあいサロンと連携して開催) 新しい生活様式に心がけコロナウイルス感染防止対策をおこないながら、地域の集会所や公民館等の身近な場所を利用して、保健師による健康相談、認知症予防、レクリエーション、いきいき 100 歳体操、ニュースポーツ(モルック)、出前講座、お茶会などを開催し、高齢者の介護予防及び予防医療の推進を図った。 また、運動機能の維持と運動意欲喚起を目的に気軽にスポーツを楽しめる『モルック体験』を開催した。 (1) 時 期 通年 (2) 会 場 各地域の集会所・公民館等(13 か所) (3) 開 催 23 回 (4) 参加者 214 名(延べ) ※ボランティア登録 7 名(延べ 20 名活動)

事業名	事業目的	事業概要			
 高齢者等の生きがいや社会参加の推進 学校と地域を繋げる活動		2 ふれあいサロン活動の推進 住民主体のふれあいサロンが積極的におこなわれるように支援に努めた。 また、コロナウイルス感染予防対策についての支援にも努めた。 (1) ふれあいサロン実施地区への活動費助成 (10 か所) (2) ふれあいサロン活動の情報発信 (社協だより りんどう No86・87号、みなみチャンネル放送、YouTube での情報発信) (3) ふれあいサロン新規設立等の活動支援 (新規活動地区無し) (4) ふれあいサロン研修会の開催 (令和4年12月7日 eスポーツ体験 70名参加) 3 きらきら健康ウォーキング大会への協力 (コロナ禍の為中止) ボランティアグループ『子どもに夢を運ぶ会』の主催する健康づくりイベント 4 老人クラブ活動への支援 詳細は、後述 29ページ 老人クラブ連合会の事務・事業への支援を参照 5 赤い羽根共同募金杯 モルック大会の開催 町内関係者と共同でモルック大会を開催し、高齢者等のモチベーション向上を図るイベントを開催 令和4年10月2日 52名参加			
4 地域の福祉活動支援 【地域福祉推進】	地域支えあいにつながる地域の年中行事等のなかで福祉に関する気配りを加え地域支えあいにつなげます。 また、世代間、住民間の交流を促進し、地区住民全員が関わるような地域交流の支援をおこないます。	1 地域福祉 (支えあい) 活動促進助成事業 (赤い羽根共同募金配分金事業) 助成ヵ所 10ヵ所 (目標値 15ヵ所) 計14万5千円助成 ((志津ふれあいサロン、里すこやかクラブ、竹の熊おしゃべりカフェ、新町ピンコロリ会、脇戸地区あすなろ会、本町さくら会サロン、さくら荘カフェ、いきいきサロン下中原、立岩自治会、大谷山あおぞら会) 2 交流活動等に必要な備品の貸出とリスト表の作成と周知 住人相互の交流活動の推進に寄与することを目的に、本会が管理する交流活動等に貸出可能な備品等を貸出し、社協だより等で周知に努めた。			
5 防災活動支援 【地域福祉推進】 	住民の自主的な防災活動による安心・安全なまちづくりを役場と協力し、推進します。	1 災害ボランティアセンター設置準備 (詳細：後述 20ページ 災害ボランティアセンター設置事業を参照) 2 職員の派遣・関係機関への協力要請 (コーディネート) 実績なし 3 AED 設置事業 地域防災力向上を図るため住民交流拠点等に AED を設置し、 地域防災力の向上を図り、定期的に AED の管理を行った。	<table><tr><td>設置箇所</td><td>立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台 りんどう荘 1 台 大谷山地区 1 台</td></tr></table>	設置箇所	立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台 りんどう荘 1 台 大谷山地区 1 台
設置箇所	立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台 りんどう荘 1 台 大谷山地区 1 台				

事業名	事業目的	事業概要
6 福祉・健康学習支援 【地域福祉推進】	子どもから高齢者まで全世代における福祉・健康づくりへの意識改革を推進します。	1 認知症サポーター養成講座（スキルアップ講座）等の推進 南小国町（福祉課）、認知症キャラバンメイトと協力し、認知症サポーター養成講座等の開催を推進 キャラバンメイト連絡会議への出席（2回） 開催実績：2回開催（内訳：町内小学校5年、中学生1生） 2 福祉・健康学習会開催時への職員の派遣・関係機関への協力要請（コーディネート） 地域住民からの要請に応じて、職員の派遣及び関係機関への協力要請を調整した。 —実績— 町内小中学校、各ふれあいサロン、さくら荘カフェ、高齢者ミニデイサービスでの健康学習等を実施 3 いきいき100歳体操の普及推進 コロナ禍の為、活動休止の時期もあったが、地域住民の健康増進・維持に繋がるように継続的に支援に努めました。
8 地域福祉活動の事例の広報 【総務】 【地域福祉推進】	町内外の地域福祉（支え合い）活動の事例を紹介し、支え合い活動の充実を図ります。	1 活動事例の記録及び広報 (1) 町内の地域福祉活動事例の記録及び情報収集をおこない、社協だより【りんどう】にて広く町民へ情報提供をおこない、活動の活性化を図りました。 (2) 広報活動の充実（詳細：後述 16 ページ 町民啓発活動事業を参照）



南小国中学生
認知症サポータースキルアップ講座



小国高校生
古着リユース活動



モルック大会 優勝チーム
さくら荘カフェ



民生委員児童委員
(令和4年12月1日改選)

4. 人材・福祉文化の醸成（担当部門 事務局）

事業名	事業目的	事業概要
1 町民啓発活動 【総務】 【地域福祉推進】	町民に様々な福祉やまちづくり活動に関する具体的な情報及び町民がともに福祉やまちづくりについて考えあう機会を提供し、福祉やまちづくりについての理解や関心を深めてもらう。 また、町民に対しての社協事業の情報公開・福祉について分かり易く周知していきます。	1 広報活動・啓発活動 (1) 「社協だより」の発行 社協だより“りんどう” 年5回（No83～87） 発行部数 1700部 ホームページに公開 配布先：町内全戸配布・関係機関・団体 (2) みなみチャンネルを活用した広報活動（きよらニュースにて 11事業を放送） (3) ホームページの管理運営 (4) ICT（情報通信技術）・SNS を活用した効果的な情報発信（Facebook,Instagram,Youtube） 投稿回数102回 (5) 文字放送・有線放送・チラシ等による情報提供（心配ごと相談、法律相談、講演会等） 2 福祉講演会等の開催 (1) 令和4年度 小国郷福祉講演会 CATV 講演会（小国町社協との共催） 日時：令和5年3月31～4月2日 計6回放送 内容：更生保護について 講師：指定更生保護施設 雲仙・虹 施設長 森田和富氏 備考：YouTube での放送 (2) 第18回晴ればれりんどう ボランティアの日 の開催 開催期間 令和4年10月～11月 2カ月間 イベントの開催 令和4年10月2日（日）9時～11時 ボランティア連絡協議会会員で美化活動を実施 参加内訳：会員63名 内 容 実行委員会の開催（コロナ禍のため実行委員会を設置せずにボランティア連絡協議会役員会にて企画運営）／住民への啓発／町内の美化活動／SNS での情報発信 活動者数 493名（延べ） 3 介護サービス情報公表【居宅介護、通所介護】 介護サービスの利用者・家族等が公表されたサービス事業所の情報を基に比較検討することにより、利用者等の主体的な事業者選択を可能にすることを目的としています。 (1) 介護サービス情報の公表制度に基づき、本会で実施している介護サービスの公表を実施した。



第18回晴ればれ りんどうボランティアの日



熊本県 介護サービス情報公表サイト QRコード



居宅介護

事業名	事業目的	事業概要
2 ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の推進 【地域福祉推進】	南小国町におけるボランティア活動を推進するため、ボランティアセンターを地域福祉センター内に置き、運営においては、ボランティアの代表や各種機関・団体の代表を組織して連絡会議を開催し、町民参加のもとに町内におけるボランティア活動の充実を図っていきます。	1 ボランティア活動の基盤整備 南小国町内のボランティア活動が積極的、継続的に展開されるよう基盤整備を行った。 (1) ボランティアの情報収集・情報発信 (みなみチャンネル・社協だより等 前述 16 ページ 町民啓発活動事業を参照) (2) ボランティアの登録・相談・需給調整 (登録数 28 会員 (個人ボランティア含)) (3) フードバンク・フードドライブの登録制開始 (緊急生活支援事業) <u>実績 4 件</u> (4) ボランティア活動のコーディネート (964 件) ※1 人 1 日の活動を 1 件とする (5) ボランティア・NPO 等への助成金等の紹介 <u>実績無し</u> (6) ボランティア保険事務 (ボランティア活動保険・行事用保険等の受付) ボランティア保険 11 件 (306 名加入) ボランティア行事用保険 7 件 (7) ボランティア団体への助成事業 ①令和 4 年度ボランティア活動促進事業 <u>実績 3 団体 (助成総額 118,000 円)</u> 指定助成団体：南小国町ボランティア連絡協議会、きよらパトロール隊 子どもに夢をはこぶ会 (8) ボランティア講習会 ① なずなの会 災害ボランティア養成研修 (令和 4 年 6 月 15 日) 25 名受講 ② 小国高校 1 年生ボランティア講座 (基礎編) (令和 4 年 7 月 7 日) 1 年生全員 ③ 小国高校災害ボランティア学習 (基礎編) (令和 4 年 10 月 26 日) 4 名受講 ④ 南小国中学生ボランティア学習 (基礎編) (令和 4 年 7 月 12 日) 16 名受講 ⑤ 傾聴学習会 (基礎編) (令和 5 年 3 月 9 日) 27 名受講 2 なずなの会 (南小国町ボランティア連絡協議会) の活動推進 現在活躍している様々な分野のボランティアが手を結び、連携をもって住みよい町づくり活動が維持できるような事業を推進した。又、ボランティア連絡協議会の開催等を通じて、ボランティア同士の交流や情報交換ができるように支援してきた。 (1) 第 18 回 晴ればれりんどう ボランティアの日 の企画 (2) 事務局の運営 ① 総会開催 (令和 4 年 6 月 15 日) ② ボランティア講習会の開催 『災害ボランティア養成研修』 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク 李仁鉄氏 ③ 役員会 (3 回開催) ④ 南小国町ボランティア行動隊の立ち上げ支援 (美化活動 11 回 153 名延べ) 3 子育てボランティア活動の充実と支援 子育て応援団ぽっかぽ家の活動充実を図った。 (1) ぽっかぽ家連絡会議の開催 <u>3 回開催 (子育てボランティア 26 名登録)</u> ー子育て応援団ぽっかぽ家の主な活動内容ー ① 子育て応援団連絡会議 (3 回開催) ②春・夏・冬休み子どもデイサービスボランティア



YouTube 動画
南小国町ボランティア行動隊



南小国町ボランティア行動隊

事業名	事業目的	事業概要
3 福祉・ボランティア教育の推進 【地域福祉推進】 	南小国町ボランティアセンター業務の一環として、一般町民・小中高の児童・生徒たちへの福祉教育や町民啓発を推進していきます。 また、学校と地域が一体になって進める福祉教育のあり方を検討していく。また、「総合的な学習の時間」において福祉教育に取り組もうとする学校への支援を行っていく。地域や年齢層を越えた児童・生徒のボランティア意識の育成を図ります。	1 福祉共育（教育）の模索と実践 コロナ禍のなかで福祉共育（教育）の重要性が問われているなか、熊本県社会福祉協議会の推薦を受けて全国福祉教育推進委員研修を修了するなど職員の資質向上を図り、学校や地域と協同して以下の取り組みを実践した。 ☐ 南小国町福祉教育推進校連絡会議の開催 第1回 令和4年5月25日（火）16時～16時40分（町内小中学校 4校出席） ☐ 福祉共育情報ガイドブック（第2版）の配布（小中学校担当職員） ☐ 福祉学習会の開催 ① 高齢者を理解しよう 疑似体験学習 りんどうヶ丘小学校 1・2年生 実施日 令和5年3月14日（45分×1コマ） 会 場 学年教室 講 師 本会職員 ② りんどう荘デイサービス利用者とのオンライン交流会 中原小学校 全学年 実施日 令和5年2月28日（45分×2コマ） 会 場 中原小学校、りんどう荘 対象者 児童、りんどう荘利用者 ③ 福祉・介護のことについて考えよう 南小国町出前講座（南小国町立小学校6年生） 実施日 令和4年6月8日（45分） 会 場 きよらホール 対象者 小学校6年生 ☐ 関係機関との連携 南小国町地域学校協働本部運営委員会への参加（2回） 市原小学校 学校運営協議会への参加（2回） 中原小学校 学校運営協議会への参加（2回） 熊本県社会福祉協議会福祉教育推進委員会への参加（令和4年9月6日）オンライン会議 

事業名	事業目的	事業概要
 福祉共育(教育)推進 子ども達への福祉学習の充実(疑似体験)		2 福祉共育(教育)推進校事業 町内の小・中学校を福祉教育推進校として1年間指定し、児童・生徒に対する福祉教育の普及事業に取り組んでもらい、地域を基盤とした積極的な福祉教育の推進を図った。 (1) 南小国町社協指定校 □ 指定校 市原小学校・中原小学校・りんどうヶ丘小学校・南小国中学校 □ 期 間 通年 □ 対 象 南小国町内すべての小中学校 □ 助成額 23万円(赤い羽根共同募金事業) 3 福祉共育(教育)への協力支援 地域行事、子ども会などの町民が集まる場所で、依頼に応じて福祉・ボランティアの体験講座や福祉講話などへの協力を行った。 (1) インターンシップ・職場体験の受入れ(南小国中学校2名を受入れ) (2) 小中学校総合的学習等への協力(前述 18 ページ 福祉教育の模索と実践を参照) (3) 南小国町地域学校協働本部活動への協力 4 小中高生への福祉・ボランティア意識の高揚 現在、小中高生における福祉・ボランティア教育が頻繁におこなわれるようになり、将来を担う子ども達に対して、福祉・ボランティアの大切さを学び自発的に行動しようとする意識、ボランティアの楽しさ・大切さ・深さを涵養すること目的に下記の事業を行った。 (1) 2022-2023 チャレンジ小国GO!(小国高校生福祉共育推進事業) □ 実施主体 南小国町社協/小国町社協 □ 協力機関 小国高校/子どもに夢をはこぶ会 □ 内 容 ①ボランティアの基礎学習会の開催(1学年全員 令和4年7月7日) ②卒業生への福祉ボランティア表彰(対象者:38名) ③ICTを活用した情報提供 ④福祉・ボランティア体験等 10項目を実施 【主な体験項目】 SDGs 美化活動、手話学習、子どもデｲｯﾁｰｽﾞ、SDGs 学習等 □ 実 績 参加生徒 36名 (延べ99名活動)(※1年間を通しての実績)  チャレンジ小国 GO (SDGs美化活動 障がい者、高校生、留学生等との交流)

事業名	事業目的	事業概要
 中学生 子どもデイサービス ボランティア活動		(2) 中学生ボランティア体験事業 中学生が地域社会との交流の機会を持ち、様々な体験活動を通じて、福祉活動及びボランティア活動への理解・関心を深め、社会の中での連帯の意識を育む事を目的とする。 —実績— ① 子どもデイサービスでの児童の見守りと多世代間交流 参加生徒 夏休み(18名)、冬休み(9名)、春休み(9名) ② 中学生ボランティア基礎学習(令和4年7月12日) <u>16名受講</u> ③ 第18回晴ればれりんどうボランティアの日への参加 <u>参加生徒 13名</u> ④ 卒業生 ボランティア表彰 <u>表彰生徒 14名</u>
4 南小国町災害ボランティアセンター設置準備 【地域福祉推進】 	大規模な災害が発生した場合には、速やかに災害ボランティアセンターを開設し、避難場所での被災者の日常生活支援や被災家屋の後片付け、救援物資の配布など災害救援のボランティア活動が円滑に進められるように開設のマニュアル見直しなどを行い災害の発生に備えます。	1 南小国町との連携 (1) 災害発生時における相互支援体制の整備 □災害ボランティアセンター設置及び運営に関する南小国町との協定締結(更新) 2 熊本県社協と阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会との連携 (1) 県社協と阿蘇圏域での相互支援体制の整備と情報の共有化 3 南小国町社協職員の災害時の体制整備 (1) 事業継続化計画 BCP の策定 (2) 保管備品の整理及び管理 4 地域住民への災害ボランティアセンター活動の啓発と災害への備えについての啓発 (1) 災害ボランティア学習会の開催(2回開催)※前述17ページ【ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の推進】参照 (2) ホームページ機能と情報の拡充(災害ボランティア特設ページの設置)、社協だより・みなみチャンネルでの情報発信

5. 役場・社協・関係機関の一層の連携（担当部門 事務局）

事業名	事業目的	事業概要
1 ふれあい福祉相談事業 【地域福祉推進】	住民の抱える様々な生活・福祉問題に対し気軽に相談できる体制づくりをし、相談された問題は、確実に解決できるよう対応し、適切な相談機関の紹介を行います。 又、町民のための効果的な開催方法を検討し、改善する。	1 心配ごと相談・行政相談・人権相談 相談員 行政相談委員・民生委員児童委員・主任児童委員・人権擁護委員 場 所 地域福祉センターりんどう荘 時 間 午前10時～正午 第3木曜（原則） 開設日数 6回 相談件数 1件 2 無料法律相談の開催 会場 南小国町地域福祉センター ※弁護士 肥後大津法律事務所（藤本猪智郎弁護士） （1回）日時 令和4年 6月25日（土） 午前10時～正午 （相談件数 4件） （2回）日時 令和4年 8月26日（金） 午前10時～正午 （相談件数 2件） （3回）日時 令和4年12月 3日（土） 午前10時～正午 （相談件数 2件） （4回）日時 令和5年 2月17日（金） 午前10時～正午 （相談件数 3件） 3 各種福祉相談への窓口を常時開設し対応した □福祉サービスについての苦情等受付 4 総合相談体制の充実 町民の皆様が抱える課題も貧困・介護・認知症・子育てなど多様化しており、そのような課題を抱える当事者（家族）の持っている力を最大限に引き出しつつ、支援していくことが大きな課題となっております。 そのような課題を解決に導くことは非常に困難ではありますが、そのまま誰からの支援を受けることなく孤立させない総合相談体制・地域包括ケア体制を目指し体制整備を図りました。 （1）生活困窮者等自立相談支援事業の運営（県社協受託事業） 生活困窮者自立支援制度の相談支援業務を熊本県社会福祉協議会より受託し、町民の様々な生活課題に対応すべく、関係機関と連携し、困窮者等への相談支援業務に努めました。 □総合相談窓口設置（相談支援員・就労支援員・アウトリーチ支援員 4名配置） □新規相談件数 37件 [内本人同意あり 17件] □支援プラン作成件数 27件 □一時生活支援事業 1件 □家計改善支援事業 12件 □就労準備支援事業 1件 □生活保護受給者等就労自立促進事業 12件 ※ハローワーク就労支援 □自立相談支援事業による就労支援 6件 □学習支援 4件 □就労開始者 3名

フリースペースにじいろ

来場者に
お茶菓子を用意しています。
※先着順で、なくなり次第終了。

OPEN

あなたのままでいい
人と同じであっても
人と違っていても
そのまんまで
ここにいていい

参加無料

開催日：令和4年8月19日（金曜）
時 間：10時～16時
会 場：未来づくり拠点MOG（市原 上町）
対象者：どなたでもOK
悩みを抱えている方やその家族
この取り組みに関心のある方など
ご都合のよい時間帯にどうぞお越しください。

南小国町社会福祉協議会 090-4517-5820

事業名		事業目的		事業概要																			
		LINE 相談支援の設置		□支援実績 <table><tr><td>訪問支援</td><td>82回</td><td>面談</td><td>221回</td><td>学習支援</td><td>44回</td></tr><tr><td>連絡調整支援</td><td>859回</td><td>同行支援</td><td>24回</td><td>その他</td><td>18回</td></tr><tr><td>SNSによる支援</td><td>221回</td><td>緊急生活支援</td><td>15回</td><td></td><td></td></tr></table> □支援調整会議への出席（12回）※書面審議含む □アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業の受託 ■アウトリーチ専任職員の配置 ■フリースペースにじいろの設置（12回開催）※会場：未来づくり拠点 MOG ■子育てに悩む保護者の集い みちくさの会の共同開催（3回開催） ■ひきこもり相談チラシの作成と配布（阿蘇郡全域へ配布） ■ひきこもり等の方への相談支援（面談、訪問、連絡、同行支援、連絡調整、ケース会議等 支援総数 478回） □外国人等への相談体制の充実（翻訳機の設置、外国語対応の相談チラシ設置） □相談窓口等の充実（LINE 相談支援の設置、時間外での WEB 受付体制整備） □南小国町消費者行政との連携 □ケース会議等の調整及び参加（12回） □各種研修会等への参加 □町民への事業の周知及び町内関係機関との連携 □適正な事務処理（福祉事務所への提出書類、月次報告、全国統計システム入力管理など）		訪問支援	82回	面談	221回	学習支援	44回	連絡調整支援	859回	同行支援	24回	その他	18回	SNSによる支援	221回	緊急生活支援	15回		
訪問支援	82回	面談	221回	学習支援	44回																		
連絡調整支援	859回	同行支援	24回	その他	18回																		
SNSによる支援	221回	緊急生活支援	15回																				
		緊急生活支援事業の整備		5 緊急生活支援事業 生活に困窮している世帯等で、緊急的な支援が必要な世帯に食料・ライフラインの支援を提供します。その後の自立した生活に向けての支援も行います。 ① 支援実績 15件 ② フードバンクによる食糧支援 12件 6 サポートセンター悠愛との連携による相談支援（障がい者支援） 障がいを抱えている方々が、安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、サポートセンター悠愛と連携し支援に努めました。 (1) 地域福祉権利擁護事業との連携 (2) 相互連携による相談支援（同行訪問など） (3) 生計困難者レスキュー事業との連携（生計困難者レスキュー事業への繋ぎ1件）																			

事業名	事業目的	事業概要																								
2 地域子育て支援事業 (赤い羽根共同募金事業) 【地域福祉推進】	子育て中の家庭を支援し、子どもたちの健全育成を図り、誰もが安心して子どもを育てることのできる町づくりを目的として実施する。	1 子育てサポート事業の実施（共同募金配分金事業） 令和5年2月3日付けで事業廃止 子どもを預かってほしい家庭（依頼会員）と子育てボランティア（協力会員）とが会員となり、冠婚葬祭・病気などで子どもをみれないときに協力会員が子どもを預かるサービス。 また、協力会員の減少に伴い事業継続が困難となり、事業廃止を決定。 (1) 利用料 300 円（土日祝日は 100 円増し）1 時間当たり (2) 内 容 ① 一時保育サポート ②会員の登録 ③子育てサポートのコーディネート・相談 ④ 起業型地域おこし協力隊への事業者登録 (3) 利用実績 0 件 相談援助 0 件 新規依頼会員 登録 0 件 <table><tr><th colspan="6">子育てサポート事業 年度別利用実績</th></tr><tr><th>年度</th><th>平成 29 年</th><th>平成 30 年</th><th>令和元年</th><th>令和 2 年</th><th>令和 3 年</th></tr><tr><td>利用件数</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>利用時間</td><td>1</td><td>9</td><td>11</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	子育てサポート事業 年度別利用実績						年度	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	利用件数	1	2	4	0	0	利用時間	1	9	11	0	0
子育てサポート事業 年度別利用実績																										
年度	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年																					
利用件数	1	2	4	0	0																					
利用時間	1	9	11	0	0																					
																										
子どもデイサービス事業 けん玉体験(和田公介様)		子育てサポート事業																								
																										
子どもデイサービス (朝の学習時間の様子)																										
		2 子どもデイサービス事業（共同募金配分金事業） 少子化、核家族化が進み、休日に子どもだけで過ごしている家庭が増えてきています。家族が安心して仕事の出来る環境づくりと、世代間交流や様々な体験活動等を通して思いやりのある子どもの心を育てるお手伝いを目的として、子どもデイサービスを実施 (1) 時 期 夏休み 21 日間 冬休み 6 日間 春休み 11 日間 計 38 日間 (2) 時 間 8:30～17:30 (3) 時間外 令和2年度より時間外サービスを一時的に休止 (4) 利用料 利用日数×500 円 (5) ボランティア 子育てボランティア、高校生、中学生、一般町民他 (6) 実 績 夏休み：児童 21 名（延 246 名） ボランティア 48 名（延 121 名） 冬休み：児童 13 名（延 50 名） ボランティア 28 名（延 37 名） 春休み：児童 23 名（延 128 名） ボランティア 28 名（延 37 名） 子どもデイサービス 年度別（日数・児童・ボランティア数） 単位：人 （）内は延べ活動人数 <table><tr><th>年度</th><th>平成 30 年</th><th>令和元年</th><th>令和 2 年</th><th>令和 3 年</th><th>令和 4 年度</th></tr><tr><td>実施日数（単位：日）</td><td>43</td><td>42</td><td>24</td><td>40</td><td>38</td></tr><tr><td>参加児童数 （単位：人）</td><td>53 (532)</td><td>53 (430)</td><td>33 (185)</td><td>41 (358)</td><td>57 (424)</td></tr><tr><td>ボランティア数 （単位：人）</td><td>135 (264)</td><td>120 (239)</td><td>57 (95)</td><td>124 (244)</td><td>104 (299)</td></tr></table>	年度	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年度	実施日数（単位：日）	43	42	24	40	38	参加児童数 （単位：人）	53 (532)	53 (430)	33 (185)	41 (358)	57 (424)	ボランティア数 （単位：人）	135 (264)	120 (239)	57 (95)	124 (244)	104 (299)
年度	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年度																					
実施日数（単位：日）	43	42	24	40	38																					
参加児童数 （単位：人）	53 (532)	53 (430)	33 (185)	41 (358)	57 (424)																					
ボランティア数 （単位：人）	135 (264)	120 (239)	57 (95)	124 (244)	104 (299)																					

事業名	事業目的	事業概要
 ぬくもり(りんどう荘内)		3 地域子育て支援拠点事業『ぬくもり』への協力 保育所入所前の子どもを持つ母親、出産前の母親や子育てに関心のある地域住民・ボランティアの方々が集まり、同じ年頃の子供を遊ばせたり、お母さん達の情報交換等を行い、子育てに対する不安を一人で抱え込まないようにすることを目的とし一年を通して開催。 (1) 開催日 毎週(火曜・水曜・木曜)(9:30~16:00) ※年末年始、祝祭日を除く 会場 南小国町地域福祉センターりんどう荘等 (2) 『ぬくもり』実績 親子 545名(延べ) 利用日数 130日間 (3) 赤い羽根共同募金助成事業 子育て広場き☆ら☆らへの活動費助成(20,000円)
3 地域包括ケアシステムの整備及び関係機関とのネットワーク強化 【地域福祉推進】 【居宅介護支援事業所】	役場・保健・医療・福祉等の関係機関の連携により効果的な援助ができるよう各種会議を開催し、町民が住み馴れた地域で、出来るだけ自立した生活が続けられるよう一人ひとりの日常生活を包括的に支えていく仕組みの整備を図ります。 また、町内に既存する福祉事業所がより地域に密着した活動へとつながるように支援します。	1 地域ケア会議への参加(コロナ禍のため開催無し) 南小国町内の福祉関係者が集り、困難事例・福祉サービスを必要とする町民の方への支援策を協議し適切なサービス提供と課題解決に向け連携しました。 2 小国郷居宅介護実務担当者会議へ(実績なし) 2ヶ月に一回小国郷の福祉に携わる実務担当者が集まり開催、現在の福祉状況等の意見交換等を行っていたが、コロナ禍のため開催しなかった。 3 総合相談体制の充実 詳細 前述 21 ページ 総合相談体制の充実参照 4 小国郷医療福祉あんしんネットワークへの協力(参加11回) 小国郷内の医療・介護関係者との連携強化のために、ネットワーク会議等へ参加した。(再掲) 5 南小国町関係課との連携 総合相談支援の充実のため、関係各課と適宜協働し要支援者への支援に努めた。 6 福祉事業所との連携 町内に既存する福祉事業者が、より地域に密着し、住民に理解・必要とされる事業所となるように連携を図りました。 (1) 地域密着型福祉サービス事業の運営推進会議への参加 グループホーム森園、グループホーム福寿苑

事業名	事業目的	事業概要								
4 命のバトン事業 【地域福祉推進】	主に一人暮らし高齢者や障がい者、近隣との交流の少ない環境の人たちが安心・安全を確保するため、有事に自分の情報をいち早く知ってもらうため、かかりつけ医や、急病など救急時、災害時の必要な情報を保管するためのケースを整備します。	1 命のバトンの整備 関係者と連携し、命のバトンの普及・更新に努めた。 ① 新規設置 0件 ② 更新 0件 ③ 登録者数40名（令和5年3月31日現在） 赤馬場 10名 満願寺 11名 中原 19名								
5 南小国町民生委員児童委員活動の推進 【総務】 【地域福祉推進】	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員との連携を深め、協力し地域福祉を進めていきます。 また、定例会・研修会等を開催し活動の支援を行ないます。	1 事務局運営 (1) 定例会の開催（毎月第2木曜日）（内容：委員研修、委員からの一言、事例共有・検討） (2) 民生委員児童委員、主任児童委員の活動の充実を図ること目的として活動支援を行なった。 <table><tr><td>相談・支援件数</td><td>332件</td></tr><tr><td>活動日数</td><td>959日</td></tr><tr><td>訪問件数</td><td>1527回</td></tr><tr><td>赤ちゃんおめでとう訪問</td><td>16件</td></tr></table> 〔内訳〕 (3) 担当地区の要配慮者などの実態把握 (4) LINE 連絡網での情報共有・発信 (5) 民生委員児童委員活動へのアンケート調査 (6) 町内各種会議・事業等への協力と役割分担 (7) 民生委員児童委員一斉改選（令和4年12月1日） (8) ふれあい見守り訪問事業の実施 226世帯への見守り訪問を実施（延べ675回訪問）	相談・支援件数	332件	活動日数	959日	訪問件数	1527回	赤ちゃんおめでとう訪問	16件
相談・支援件数	332件									
活動日数	959日									
訪問件数	1527回									
赤ちゃんおめでとう訪問	16件									
6 地域障がい者（児）支援 【地域福祉推進】	町障害者計画に基づき、町民への障がいへの理解を深めます。	1 サポートセンター悠愛との連携した相談支援 2 障がいに対する正しい理解と認識の普及活動 ➢ 小国高校生への福祉教育（手話学習） ➢ りんどうヶ丘小学校1・2年生への福祉教育（高齢者理解） 3 地域住民との交流支援 モルック大会、小国高校生徒の美化活動								
7 認知症の人を支える地域づくりへの協力 【地域福祉推進】	認知症になっても住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる地域を目指し、関係機関と連携し認知症への理解をはじめ、声かけや見守り支援の充実を図ります。	(1) 見守り目配りハンドブックの活用推進（役場の町自治会（自主防災組織）説明会資料に同封）								

6. 在宅福祉サービス事業（担当部門 在宅福祉サービス）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、各種在宅福祉サービスが整備・充実されていることが重要であり、本会は、令和2年度も積極的に各種在宅福祉サービスに取り組み、利用者の立場に立ったサービス提供を行ってきました。

事業名	事業目的	事業概要																		
1 福祉用具 車輦等貸与事業 【総務】 	虚弱な高齢者・障がい者、病気やけがをした人の送迎・介護など福祉機器等の使用を必要とする町民に対して、福祉機器・車輦を貸し出します。 また、福祉用具・車輦の一部等は寄贈頂いたものもあり、寄贈いただいた方の意思にそえるように地域活動に活用していきます。	1 福祉サービス車貸出事業 (1) 利用料 1 kmあたり 25 円（保険料、燃料費として） ※70 Kmを超える距離については、1 kmあたり 15 円 (2) 実績 1 件（昨年度1件） 2 福祉用具等 貸出し実績 (1) 貸出件数 72 件 「主な貸出備品」 ☐車椅子 ☐歩行器 ☐ポータブルトイレ ☐高齢者疑似体験セット ☐レクリエーション器具 ☐介護ベット ☐タッチアップ ☐ベッドサイドテーブル ☐その他（炊出し釜・テント等） ☐点字盤 ☐かんたんテント ☐炊き出し釜セット																		
2 外出支援サービス事業（町受託事業） 【訪問介護】 	障がいや身体機能の低下等により、外出が困難な方に対して福祉車輦を用いて通院等の送迎を行なう。 	1 対象者： 南小国町ケア会議にて認定を受けた南小国町在住の方 2 事業所： りんどう荘福祉サービスセンター 3 使用車輦： 社協所有の福祉車輦 4 実績 利用者数 延 137 名（昨年度 54 名） 事業収入 333 千円（昨年度比較 173%） <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位：千円）</td><td>340</td><td>280</td><td>129</td><td>192</td><td>333</td></tr><tr><td>前年度比（単位：千円）</td><td>△87</td><td>△60</td><td>△151</td><td>63</td><td>141</td></tr></table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位：千円）	340	280	129	192	333	前年度比（単位：千円）	△87	△60	△151	63	141
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位：千円）	340	280	129	192	333															
前年度比（単位：千円）	△87	△60	△151	63	141															
3 自費サービス事業 【訪問介護事業】	既存の制度等に対応できない生活課題を支援する生活支援サービスです。	1 対象者 介護保険をご利用されている方、共働き世帯やお子様のいるご家庭など、介護ニーズがない方にも広くご利用いただけます。 2 実績 利用者数 3 名（利用回数 8 回） 事業収入 19,000 円																		

事業名	事業目的	事業概要
4 地域福祉権利擁護事業 業（日常生活自立支援事） 【地域福祉推進】	高齢や病気、障がいなどで判断能力等が十分でないため、日常生活での福祉サービスの利用や、金銭管理がうまくできない方々の生活支援を目的に実施。	1 対象者 認知症・知的障がい・精神障がいにより、情報の入手や理解、判断、意思表示の能力が低下し、日常生活において福祉サービスなどの利用が本人ひとりでは適切に行なうことが困難な方 【支援内容】 福祉サービス等の利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり等 【支援体制】 担当職員と生活支援員（社協職員兼務4名）を配置し、小国郷内関係機関と連携を図りながら相談支援に努めた。また、県社協地域福祉権利擁護センターの指導監督の基、預金通帳等の適正な管理（預金通帳残高等の月次報告・点検）に努めました。 実 績：利用者 12名、相談援助 359回 2 預かりサービス事業 地域福祉権利擁護事業の契約締結までの間に対応する事業として実施 サービス内容：預金通帳・印鑑等の保管、金融機関の払い出し及び支払時等の同行支援 利用料：1回 900円 実 績：実績なし
5 生活福祉資金貸付事業 （県社協一部受託事業） 【地域福祉推進】	低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯等に、無・低利子で資金の申請受付及び相談援助をおこないます。 貸付調査審議は、熊本県社会福祉協議会の生活福祉資金調査委員会で行います。また、長期滞納者については担当民生委員、熊本県社協と協力し面接指導等を取り入れ、償還に向けた支援を積極的に進めています。	1 福祉資金の種類 （1）総合支援資金（2）福祉資金（3）教育支援資金（4）離職者支援資金 （5）不動産担保型生活資金（6）臨時特例つなぎ資金（7）緊急小口特例貸付 2 受託業務 （1）福祉資金の受付や申請等にかかる事務（窓口業務） （2）貸付や償還にかかる各種調査の実施や書類の作成 （3）担当民生委員・児童委員や民児協と連携した償還指導や援助活動の実施 3 貸付・受付実績 （1）通常貸付件数 0件（相談件数 0件） （2）新型コロナウイルス対策特例貸付 3件 内訳：緊急小口1件、総合支援2件 4 償還（返済）滞納者への相談援助の実施（適宜対応）
6 一人暮らし高齢者への元気支援事業 （町補助事業） 【地域福祉推進】	ひとり暮らし高齢者の孤独死防止及び災害時等で迅速に動ける体制を整備し、民生委員・地域住民で見守る体制を整備する。 また、孤独の緩和化を図るとともに社会活動への積極的参加を促進する。	1 一人暮らし高齢者等見守り訪問事業 コロナ禍のため、これまでの事業内容を見直し、南小国町と民生委員児童委員と共同で見守りや配慮が必要な世帯等の実態を把握し、戸別訪問等による見守り活動を強化することによって、問題の早期発見、適切な福祉の情報提供などに取り組み一人暮らし高齢者等の福祉向上を図ることを目的に実施しました。 ● 訪問世帯：226世帯 ● 実施時期：夏季、秋季、冬季 ● 内 容：特殊詐欺防止、健康づくりのリーフレット配布、火災予防啓発

事業名	事業目的	事業概要
		2 一人暮らし高齢者等の要配慮者の実態把握 民生委員児童委員、関係機関と協力して要配慮者等の実態把握をおこなった。
6 第6回 小国郷介護員養成講座の開催にむけた検証及び準備 (小国町社協との合同開催) 【地域福祉推進】	在宅介護が増加しているなか、地域住民に対して介護について学ぶ機会を提供し、在宅介護の質を高め、介護に携わる人材育成などにもつなげる。	1 小国郷介護員養成講座の開催 (小国町社協との共同事業) 令和5年度開催に向けて、運営事業者等の調査、開催内容について小国町社協と検討を行った。

7. 各種団体等の事務受託と活動への協力・支援 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要																		
1 熊本県共同募金会 南小国町分会の事務局運営 【総務】 【地域福祉推進】  赤い羽根共同募金配分金 高齢者の福祉活動へ活用	赤い羽根共同募金運動に協力。区会や自治会、役場、企業、学校等を通して募金活動を実施。集まった募金は、熊本県共同募金会に送金し、実績額に応じて次年度に配分される。 また、募金額の実績報告、配分金の用途の情報公開及び良質な共同募金事業実施に努め、町民への理解を高め地域福祉推進の一助となるように努める。	1 赤い羽根共同募金運動 10月～12月 令和4年度募金実績額 1, 148, 853円（目標額 800,000円） 令和4年度配分金額 447, 976円（令和3年度共同募金より） 令和4年度助成事業 300, 000円（令和4年度多様な生活支援を応援する助成事業） <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位:円）</td><td>1,136,445</td><td>1,178,263</td><td>732,476</td><td>667,976</td><td>1, 148, 853</td></tr><tr><td>前年度比（単位:円）</td><td>△113,784</td><td>41,818</td><td>△445,787</td><td>△64,500</td><td>480, 877</td></tr></table> 2 県共募の指導に基づいた適切な事務局運営 3 義援金の受付・管理・情報提供（日本赤十字社と合同で実施） □その他、適宜全国で発生した災害における義援金等の情報発信に努めた 4 共同募金データベースはねっとの管理 5 共同募金に関する情報提供（社協だより『りんどう』85号、86号） 6 災害見舞金の手続き（0件）※災害救助法が適用された場合は対象外 7 南小国町分会役員会の開催（南小国町社会福祉協議会 理事会と併せて開催） 8 共同募金啓発イベントの開催（地域を良くする モルック大会 令和4年10月2日） 9 各種会議への参加 (1) 市町村共同募金会事務局長会議 (2) 市町村共同募金担当者会議 ※コロナ禍の為中止		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位:円）	1,136,445	1,178,263	732,476	667,976	1, 148, 853	前年度比（単位:円）	△113,784	41,818	△445,787	△64,500	480, 877
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位:円）	1,136,445	1,178,263	732,476	667,976	1, 148, 853															
前年度比（単位:円）	△113,784	41,818	△445,787	△64,500	480, 877															



赤い羽根共同募金配分金
高齢者の福祉活動へ活用

事業名	事業目的	事業概要																		
2 日本赤十字社 熊本県支部南小国分区 の事務局運営 【総務】 【地域福祉推進】 	日赤の社員からの社費の取りまとめへの協力、及び社員状況の管理等を行う。また、日赤活動等を町民へ情報提供し日赤事業への理解・関心を高める。	1 日赤の救援物資の管理 (※救援物資保管場所 りんどう荘福祉サービスセンター) 2 日赤県支部の指導に基づいた適切な事務局運営（熊本県支部の訪問指導を受けた）※2年に1回 3 義援金の受付・管理（共同募金会と合同で実施） ※前述 熊本県共同募金会南小国町分会の事務局運営を参照 4 日赤会費のとりまとめ及び社員管理 会費 一般社員 500円以上 特別社員 2,000円以上 法人社員 2,000円以上 令和4年度実績額 438,200円（昨年度比較18,300円減） <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位:円）</td><td>522,000</td><td>528,000</td><td>449,500</td><td>456,500</td><td>438,200</td></tr><tr><td>前年度比（単位:円）</td><td>△11,500</td><td>6,000</td><td>△78,500</td><td>7000</td><td>△18,300</td></tr></table> 5 日赤活動の情報提供（社協だより『りんどう』85号、86号） 6 各種会議等への参加 日赤事務担当者会議 ※コロナ禍の為中止		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位:円）	522,000	528,000	449,500	456,500	438,200	前年度比（単位:円）	△11,500	6,000	△78,500	7000	△18,300
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位:円）	522,000	528,000	449,500	456,500	438,200															
前年度比（単位:円）	△11,500	6,000	△78,500	7000	△18,300															
3 老人クラブ連合会の 事務・事業への支援 【総務】 【地域福祉推進】 	福祉活動を積極的に展開している老人クラブの活動支援の一環として事務局運営を支援する。	1 南小国町老人クラブ連合会の事務局 支援 (1) 役員会の開催（2回開催） (2) 単位老人クラブ（16クラブ）への事務支援 (3) 各種会議等への参加（町老連役員・シルバーヘルパー研修等） (4) 老人クラブ傷害保険の加入促進及び保険請求事務への支援 2 老人クラブ連合会事業への支援 (1) 黒川一泊研修（令和4年12月5～6日） (2) グラウンドゴルフ大会（令和4年5月27日、10月26日） (3) 健康ふれあいスポーツ大会への協力 ※コロナ禍の為中止 (4) 子どもの見守りパトロール事業への協力 令和4年4月27日、5月11, 18, 25日 (5) 第24回 新春演芸大会 ※コロナ禍の為中止 (6) 全国一斉社会奉仕の日への協力（令和4年9月15～21日） (7) その他、各種事業等への協力 参加 14クラブ 参加者 99名 活動者数 52名																		

子どもの見守りパトロール
(市原小学校通学路)

事業名	事業目的	事業概要
		3 シルバーヘルパー コスモス会への事務及び活動支援 (1) 総会の開催 ※コロナ禍の為中止 会員数17名(令和5年4月1日現在) (2) 班長会の開催(0回開催) (3) 地域の見守り等が必要な高齢者への友愛活動(見守り・訪問活動) ※コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛 (4) 研修会の開催(講師:NPO法人傾聴ネットキーステーション) <u>参加 13名</u>
4 当事者団体・地域団体の支援 【総務】 【地域福祉推進】	障がい者の当事者団体や福祉活動を積極的に展開している各種団体を活動支援の一環として支援する。	1 障がい者(児)福祉事業 (1) サポートセンター悠愛と連携した障がい者等への相談支援 (実績10名) 内新規0名 (2) 障がい者等への相談支援(生活困窮者等自立相談支援制度) (実績9名) 内新規4名 2 福祉団体活動促進助成事業(財源:寄付金・社協会費・共同募金) 町内で活動する福祉関係団体等の活動促進の為の助成事業を実施 —指定助成団体— ① 中原婦人会(18,000円) ② 南小国町食生活改善推進員協議会(54,000円) ③ 南小国町民生委員児童委員協議会(72,000円) 3 団体・地域活動の支援 町内で活動する福祉関係団体が企画・運営する事業を積極的に支援し、将来に渡り活動が継続していくように支援をおこなった。



老人クラブ連合会
グラウンドゴルフ大会



さくら荘カフェ(会場:さくら荘)



赤い羽根共同募金杯 モルック大会



本町地区(本町さくら会)
毎週水曜 19時30分～
いきいき100歳体操他

8. 居宅サービス事業（介護保険・介護予防日常生活支援総合事業・障がい者総合支援法）

（担当部門 在宅福祉サービス）

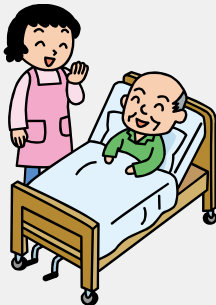
介護保険事業及び介護予防等の事業による総実績額は **83,300千円**（昨年度比較 約98%）と減収となった。介護保険分野における収入確保は、利用者の減少などの影響もあり、今後も更に厳しくなってくることが予想される為、新たなサービスの実施等の収益確保を図っていく必要がある。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績額（単位:千円）	87,956	86,826	87,119	84,657	83,300
前年度比（単位:千円）	△11,041	△1,130	293	△2,462	△1,357

事業名	事業目的	事業概要																		
1 居宅介護支援事業 【居宅介護支援事業所】   デイサービスの外出イベント 下城の大イチョウ鑑賞	要介護者が住み慣れた自宅で自立したその人らしい生活が出来るよう、心身の状況、置かれている環境、本人や家族の意向等を勘案して居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。	1 事業所名／所在地 りんどう荘居宅介護支援事業所（りんどう荘内） 2 内容 介護支援専門員（ケアマネージャー）を配置し、ご利用者本位の考えに立ち適切なサービス提供の支援をおこなった。 （1）介護支援専門員による相談援助 （2）居宅サービス計画（ケアプラン）の作成 常勤換算3名において、<u>899名</u>、<u>月平均75名</u>（昨年85名）の介護ケアプランを作成し、介護保険請求額15,076千円（昨年度比較約89%）、介護予防ケアプラン67名介護保険請求額329千円となり、収入としては減額となった。今後も安定した収益を確保するためには、地域包括支援センター、行政、福祉施設や医療などの関係機関と連携を図り、本人、ご家族への支援を強化し、ケアプラン作成数の増に繋げるように努めていきます。 <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位:千円）</td><td>13,908</td><td>16,960</td><td>17,730</td><td>16,978</td><td>15,405</td></tr><tr><td>前年度比（単位:千円）</td><td>△381</td><td>3,052</td><td>770</td><td>752</td><td>△1,573</td></tr></table> （3）居宅サービス事業者や介護保険施設・医療機関等との連携強化 （4）サービスの継続的管理と評価 （5）地域包括支援センター、福祉事務所、民生委員等との連携 （6）南小国町地域ケア会議、個別ケース検討会等への参加 （7）特定事業所加算の取得に向けた体制を整備 1. 常勤専従の主任介護支援専門員1名配置及び介護支援専門員2名配置 2. 24時間連絡体制を整備 3. 介護支援専門員の計画的な研修 4. 介護支援専門員実務者研修における実習生受入 5. 事例検討会、研究会議等の実施及び参加		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位:千円）	13,908	16,960	17,730	16,978	15,405	前年度比（単位:千円）	△381	3,052	770	752	△1,573
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位:千円）	13,908	16,960	17,730	16,978	15,405															
前年度比（単位:千円）	△381	3,052	770	752	△1,573															



デイサービスの外出イベント
下城の大イチョウ鑑賞

事業名	事業目的	事業概要																		
2 基準該当サービス 訪問介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【訪問介護】	高齢者等の在宅での生活を支援するため、ご利用者宅に訪問介護員が訪問し、介護サービス等を提供します。 	1 事業所名／所在地 りんどう荘福祉サービスセンター（りんどう荘内） 2 訪問介護事業 要介護の判定を受けた者に対し、利用者との契約により、ホームヘルパーを訪問介護計画に沿って派遣し、家事や介護の援助及び相談等を行った。 （1）ホームヘルパーの派遣（生活支援、身体介護） 3 介護予防・日常生活支援総合事業 要支援1、2の判定を受けた者に対し、利用者との契約により、計画に沿ってホームヘルパーを派遣し、自立支援を目的とした援助及び相談等を行った。 （1）ホームヘルパーの派遣（生活支援） 4 実績（訪問介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業） ケアプランに基づき月平均31名（延376名）のお客様に常勤ヘルパーと非常勤ヘルパーで対応した。介護保険請求実績額は、10,329千円（昨年度比較約103%）と、昨年度より収入増となった。単独事業としては、非常に厳しい経営状況であり、複数の居宅サービス事業を展開していくことで事業の維持が出来ている状態である。高齢化率の高い本町では訪問介護の必要性は高いため、引き続きサービスの質向上と経費等の削減に努めていき安定した事業体制を図っていきます。 <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位:千円）</td><td>11,899</td><td>11,081</td><td>10,639</td><td>9,933</td><td>10,329</td></tr><tr><td>前年度比（単位:千円）</td><td>2,585</td><td>△818</td><td>△442</td><td>△706</td><td>396</td></tr></table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位:千円）	11,899	11,081	10,639	9,933	10,329	前年度比（単位:千円）	2,585	△818	△442	△706	396
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位:千円）	11,899	11,081	10,639	9,933	10,329															
前年度比（単位:千円）	2,585	△818	△442	△706	396															
3 通所介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【通所介護】	高齢者等の在宅での生活を支援するため、通所介護事業所において介護サービス等を提供します。 また、サービスの充実を図る上で年末年始を除く、土曜日・祝祭日の営業を行います。	1 事業所名／所在地 りんどう荘福祉サービスセンター（りんどう荘内） 2 通所介護事業 要介護の判定を受けた者との契約により、通所介護計画に沿ったサービス提供を行った。 <table><tr><td>ア. 入浴サービス</td><td>イ. 食事サービス</td></tr><tr><td>ウ. 日常生活上の援助</td><td>エ. 健康状態の確認</td></tr><tr><td>オ. 相談・助言</td><td>カ. 送迎サービス</td></tr><tr><td>キ. ケース検討会議等の実施</td><td>ク. 苦情等の受付</td></tr><tr><td>ケ. 栄養改善</td><td>コ. 口腔機能向上</td></tr><tr><td>サ. 個別機能訓練</td><td></td></tr></table>	ア. 入浴サービス	イ. 食事サービス	ウ. 日常生活上の援助	エ. 健康状態の確認	オ. 相談・助言	カ. 送迎サービス	キ. ケース検討会議等の実施	ク. 苦情等の受付	ケ. 栄養改善	コ. 口腔機能向上	サ. 個別機能訓練							
ア. 入浴サービス	イ. 食事サービス																			
ウ. 日常生活上の援助	エ. 健康状態の確認																			
オ. 相談・助言	カ. 送迎サービス																			
キ. ケース検討会議等の実施	ク. 苦情等の受付																			
ケ. 栄養改善	コ. 口腔機能向上																			
サ. 個別機能訓練																				

事業名	事業目的	事業概要																		
3 通所介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【通所介護】	 日替わりメニューの提供 オムライス定食	3 介護予防・日常生活支援総合事業 要支援1. 2の判定を受けた者との契約により、介護予防サービス支援計画に沿ったサービス提供を行った。 ア. 食事サービス ウ. 相談・助言 オ. ケース検討会議等の実施 キ. アクティビティ実施 ケ. 運動器機能訓練 イ. 健康状態の確認 エ. 送迎サービス カ. 苦情等の受付 ク. 口腔機能向上 コ. 栄養改善 4 実績（通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業） ケアプランに基づき令和4年度は305日（昨年度308日）事業を実施し1日平均20.6名（昨年度21.5名）のお客様に常勤職員9名と非常勤職員9名で対応した。介護保険請求実績額56,969千円（昨年度比較 約99%）の減額となった。安定した経営を行っていくうえでも、利用者の確保と更なるサービスの質向上及び職員の資質向上を図り適切な事業運営に努めていきたい。 <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>実績額（単位:千円）</td><td>61,695</td><td>58,432</td><td>58,110</td><td>57,292</td><td>56,969</td></tr><tr><td>前年度比（単位:千円）</td><td>△10,832</td><td>△3,263</td><td>△322</td><td>△818</td><td>△323</td></tr></table> 5 職員資質向上研修 ● 認知症キャラバンメイト養成講座 1名受講 6 イベント等の開催 (1) コロナウイルス感染予防対策を十分に講じて、りんどう荘内で定期的に利用者向けのレクリエーション等のイベントを工夫し、心の豊かさや生きがいの充足の機会の提供に努めた。 (2) 福祉体験実習の受入 鳳凰高等学校看護学科1名（令和4年8月8～9日）		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績額（単位:千円）	61,695	58,432	58,110	57,292	56,969	前年度比（単位:千円）	△10,832	△3,263	△322	△818	△323
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度															
実績額（単位:千円）	61,695	58,432	58,110	57,292	56,969															
前年度比（単位:千円）	△10,832	△3,263	△322	△818	△323															
	 中原小学校とのオンライン交流会																			

事業名	事業目的	事業概要																		
4 障がい者総合支援法 基準該当居宅介護等事業の提供 【訪問介護】	居宅介護等事業者として町に登録し、利用者主体のサービス提供を目指すとともに、地域で利用者が自立して生活できるよう家事や外出等の日常生活を支援します。	1 居宅介護事業（ホームヘルプサービス） 町より認定を受けた者に対し、利用者との契約によりホームヘルパーを派遣し、家事や介護等の援助及び相談等を実施 （1）訪問介護の提供 （2）訪問介護計画の作成 （3）ケース検討会等の実施 2 実績 利用者数 3人 事業収入 597千円（昨年度比較 約131%） <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元度</td><td>令和2度</td><td>令和3度</td><td>令和4度</td></tr><tr><td>実績額（単位:千円）</td><td>454</td><td>353</td><td>640</td><td>454</td><td>597</td></tr><tr><td>前年度比（単位:千円）</td><td>161</td><td>△101</td><td>287</td><td>△186</td><td>143</td></tr></table>		平成30年度	令和元度	令和2度	令和3度	令和4度	実績額（単位:千円）	454	353	640	454	597	前年度比（単位:千円）	161	△101	287	△186	143
	平成30年度	令和元度	令和2度	令和3度	令和4度															
実績額（単位:千円）	454	353	640	454	597															
前年度比（単位:千円）	161	△101	287	△186	143															
5 南小国町地域包括支援センターへの職員出向 【総務】	平成30年度から南小国町役場の直営となり、地域の高齢者の心身の健康維持、保健福祉医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的にこなう中核的な機能が発揮されるよう、本会職員を出向させ高齢者福祉向上に貢献します。	1 職員の出向 以下の資格を所持する職員を出向させた。 ➤ 主任介護支援専門員 1名 2 地域包括支援センターとの連携 高齢者の方々が、安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、地域包括支援センターと連携し、高齢者福祉向上に努めました。 【主な連携事業】 ✧ 南小国町地域福祉総合実践計画の推進 ✧ 一人暮らし高齢者等元気支援事業（見守り訪問事業） ✧ 民生委員児童委員との連携 ✧ 総合相談事業での連携																		

資 料 集

1) 南小国町の概況(令和4年4月1日 現在 住民基本台帳調べ)

- 面積 115.88km²
- 人口・世帯数 4,036名 ・ 1,574世帯
- 自治会・行政区(32ヶ所)
- 教育環境 学校数 (令和4年4月現在)
- 小学校3校・児童数 173名
(内訳:市原89名 中原38名 りんどうヶ丘46名)
- 中学校1校・生徒数 80名
- 保育環境 町立保育園 3園・総園児数 140名(定員)

2) 福祉環境(令和4年4月1日現在)

- 高齢率 43.3%
- 65歳以上の人口 1,562人
- 15歳未満人口 395人
- 民生児童委員 13名
- 主任児童委員 2名
- 老人クラブ数 16クラブ 会員313名 加入率20.0%(65歳以上の人口比率より)
- 一人暮らし老人数(65歳以上) 212人
- 高齢者夫婦世帯(65歳以上) 163世帯
- 生活保護世帯 17世帯
- 身体障がい者手帳交付数 230人
- 療育手帳交付数 68人
- 精神障がい者 24人
- 母子世帯数 27世帯(寡婦世帯も含む)
- 父子世帯 5世帯
- 要支援・要介護認定者数 323名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
18人	20人	107人	61人	71人	32人	14人